

令和5年度かわさき教師塾

☆『明日の先生日記』☆

子どもの笑顔が
あられるまち
かわさき



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市



『明日、子どもたちの笑顔の前に立っている私』をイメージする学び

10月21日(土) ゴールの姿を実現するための授業の流れやベースとなる学級経営等の講義、道徳の授業動画の視聴からの学びについてグループ協議を行い、授業づくりの理解を深めました。

令和5年10月21日(土) 日程

- 10:05 学習指導要領とよりよい授業づくり
- 11:10 授業づくりの基本
- 12:00 ~昼食・休憩~
- 13:00 授業の実際と研究協議
- 14:40 指導講評
- 14:50 振り返り・事務連絡等 15:00 終了

子どもたちから
学ばせてもらった

ねらい

- ゴールの姿
→ 「ねらいを実現した姿」

「『1時間』『単元や題材』の授業を終えた時、子どもたちはどうなっていたらよいか」を明確にする



教師も子どもも
「楽しみながら」
たくさん話して
たくさん考えて

講師の方のような問の取り方や柳島の付け方、話し方の工夫など、自分の授業や学級でも参考にしたいと素晴らしいかったです。

授業を考える際、どのような内容にしようか考えがちだったが、ゴールの姿を明確にすることで、より具体的な手立てや子どもの反応を考えることができると分かった。



分からない児童生徒をそのままにせず、その子たちにきちんと向き合うことで、一人ひとりに寄り添える教師に近づけるのではと思いました。

日々の生活の「なぜ?」「どうして?」から生まれる子どもたちの興味・関心を引き付ける授業をしたいと強く感じました。

実態の把握について



生徒の実態把握のために日々のコミュニケーションだけでなく、相手の立場に立って考えてみることで、既存の知識や考えを活かして学びに向かう姿勢をつくること



子どもたち同士の共感や価値観の構築に…愛あられる学級経営をしていきたい!



道徳の授業で、子どもたちが次々と思ったことをつらやき広げている姿を見て、これが主体的で対話的なのだなとイメージをより強くもった。子どもたちのその姿は、子どもと先生の信頼の大きさを示しているのだと感じた。



子ども同士が主体的に考え、伝え合い、関わりをもつことでより良い授業ができていくのだと改めて感じた。そのための手立てなどを考えるのが教師の役割だと思いました。

ベースとして

学習や生活の基盤として、教師と児童(生徒)との信頼関係及び児童(生徒)相互よりよい人間関係を育てるため、日々が学級経営の充実を図ること。

「学級経営」
・あたたかな雰囲気
・お互いを認め合う
・一人一人の居場所

特別解説 第4部「児童(生徒)の発達支援」

ワールド・カフェ…他グループとメンバーを入れ替えて自由な対話を続け、相互理解を深め、多くの意見や知識を集める話し合いの手法

いつでも相談タイム!どんなことでも…ご遠慮なく…
休憩時や終了後、また開催日に限らず、「どんなことでも…決して遠慮しないで」教師塾担当の誰でも構いません。気軽にお声掛け、ご相談ください。

気付いたことを班で共有すると表現や視点が違っていて、面白かったです。他の班との交流でも、新たな気づきや学び、表現の仕方、まとめ方などを学べ、とても興味深かったです。

